

2022年12月2日

## 国連責任投資原則（PRI）の協働エンゲージメント「Advance」への参画について ～機関投資家による投融資先企業の人権尊重に向けた取組みを促進～

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：稲垣 精二、以下「当社」）は、国連責任投資原則（Principles for Responsible Investment、以下「PRI」）が新たに設立した、協働エンゲージメント・イニシアティブである「Advance」に参画することを決定しましたのでお知らせいたします。



- 2022年12月1日発足
- ESG課題のうち、人権問題を中心とした「社会（Social）」の課題をテーマに、協働エンゲージメントを通じて企業の取組みを促進することを目的として設立された機関投資家のイニシアティブ。人権リスクが高い企業に対し、対話を通じて人権尊重に向けた取組みを促進。
- 世界の主要機関投資家等 約 220 機関が参画

人権問題は、日本政府による『「ビジネスと人権」に関する行動計画（2020-2025）』の策定や、欧州諸国を中心に人権デュー・ディリジェンスが義務化されるなど、人権尊重の必要性に対する国際的な関心が高まっており、人権尊重に取り組むことが企業価値の維持・向上につながると考えております。

当社は、責任投資の重要テーマとして「人権尊重」を掲げており、これまでも投資先企業による人権リスクの改善に向けた取組み状況等をリサーチし、評価することで当社の投融資の判断に組み込むほか、投資先企業との対話を積極的に実施してきました。

今般の「Advance」への参画を通じて、責任ある機関投資家として、人権尊重に向けた投資先企業との建設的な対話を推進し、持続可能な社会の形成に貢献していきます。

《ご参考》当社が参画している主な協働エンゲージメント

	<p>温室効果ガス排出量の多い企業に対し、排出量削減に向けた取組みやその情報開示などについて建設的対話を行う、機関投資家のイニシアティブ</p>	<p>2019年8月より参画</p>
	<p>機関投資家による協働エンゲージメントの支援を目的に設立されたフォーラム</p>	<p>2020年3月より参画</p>